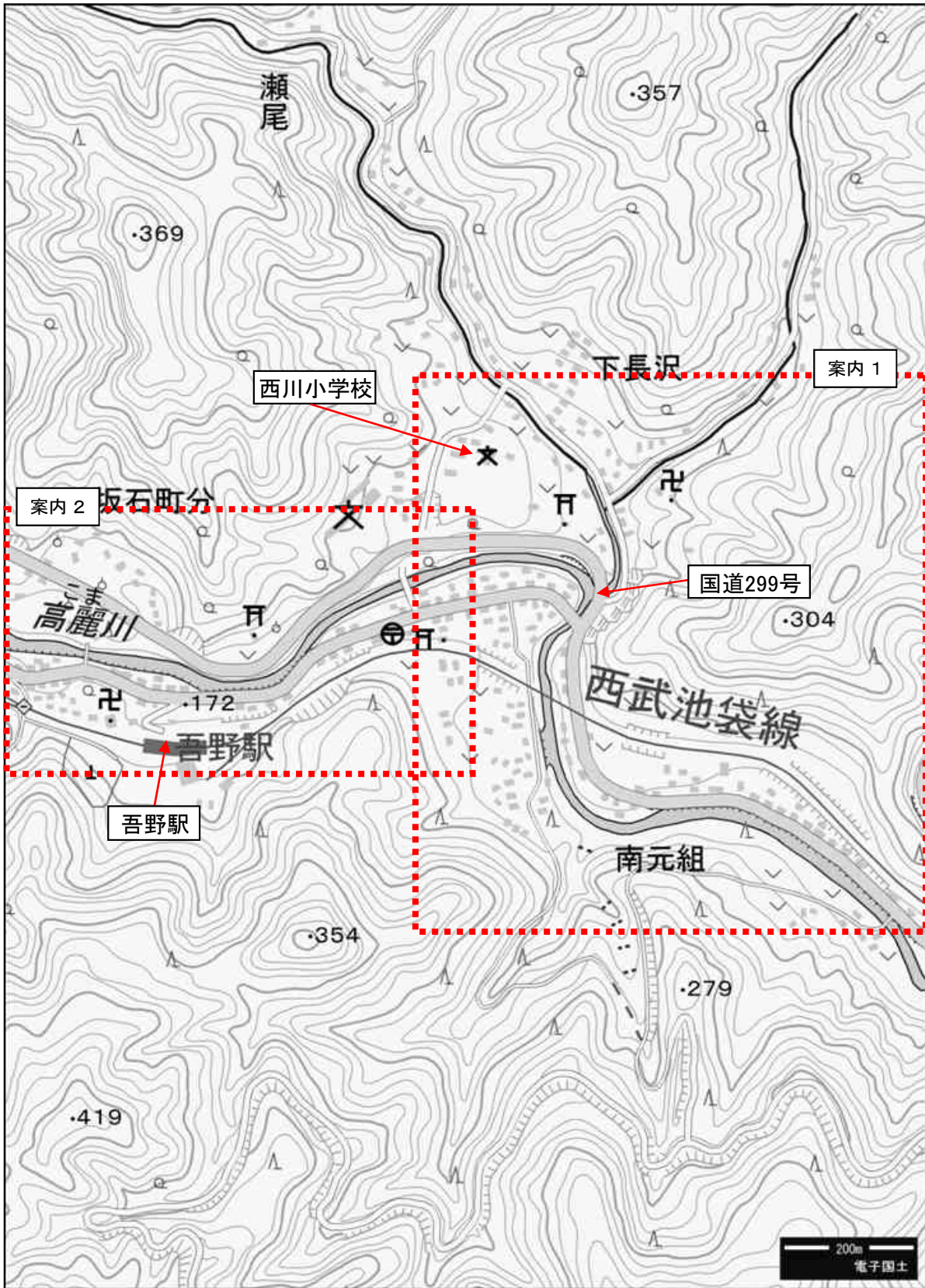


吾野



吾野1



凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

吾野2



凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

吾野



険しい山道の中にある為、馬代への必要があり、宿場として栄えた。沿道には所沢、飯能、秩父等の周辺地域の物資を集散する六斎市をともなった宿場が発達した場所で、秩父甲州往環の宿場であると共に、青梅、川越地方を結ぶ流通の拠点としての役割も大きかった。江戸期～現代まで、歴史を感じる事のできる、貴重な場所である。
(写真は飯能市吾野坂石町分付近)

1

馬頭観世音



道路脇に、ポツンとたたずむ観音様。旧街道筋の面影を留めている。

2

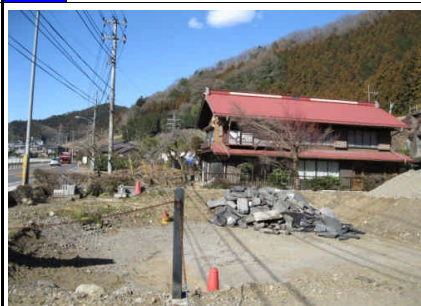
住宅



出桁造りの民家。古い造りの民家だが、一度火事で消失したとか。明治期の建物と思われるが、正確な年代は不明。
(現地ヒアリング)

3

住宅



出桁造りの民家。昔は板葺の屋根だったと思われる、大きな民家。

4

住宅



小さな家屋で可愛い雰囲気、すぐ裏には高麗川が流れる。江戸時代のしもた屋を改装して使用している杉皮葺き屋根の建物。

5

住宅



吾野宿の手前にある、出桁造りの民家。

6

踏切のある山道



線路の踏み切りと山の景色。小高い場所にある踏み切りは、おそらく地元民しか利用しないと思われる。

| | | |
|---|--|---|
| 7 吾野宿入口 | 8 東側から見る吾野宿の町並み | 9 住宅 |
|  |  |  |
| <p>国道299号バイパス沿いに見える吾野宿入口の看板。 木材で出来た、見やすい看板。</p> | <p>古い民家が立ち並ぶ、吾野宿。 歴史と郷愁を感じるさせる雰囲気。</p> | <p>街道に面する、出桁造りの民家。</p> |
| 10 住宅 | 11 店舗 | 12 住宅 |
|  |  |  |
| <p>吾野宿では珍しい、3階建ての民家。 各階の外観の雰囲気も少しずつ違う。 1階で理容店を営んでいたようだ。</p> | <p>元は薬局であった出桁造りの民家。</p> | <p>下見板を張った出桁造りの民家。</p> |
| 13 住宅 | 14-A 独楽の館 | 14-B 独楽の館 |
|  |  |  |
| <p>出桁造りの民家。 民家となりには、「あいの道」と呼ばれている路地が通る。</p> | <p>明治期に、東京から江戸期の長屋門を移築した民家。全体の造りや格子の意匠から武家屋敷の長屋門であることが、わかる。昔は問屋であったが、商人を泊めるなど宿の機能もあった。</p> | <p>写真は、中庭の様子。 正面は、式台付玄関。左側は独楽の館でギャラリーとして使われている。</p> |

| | | | | | |
|---|----|--|---------|---|-------------|
| 15 | 病院 | 16 | 筏の船着き場 | 17 | 店舗 |
|  | |  | |  | |
| <p>擬洋風造りの医院建築。 左半分の和風建物に、半円窓の欄間が付き、右半分は下見張り太い窓枠の洋館風。しかし、屋根は日本瓦で、まさに擬洋風の建物である。</p> | | <p>高麗川の川沿いにある元船着き場。筏流しの最盛期に貯木し、筏を組んで江戸まで流した跡。それぞれの民家に石垣が組まれ、川へ降りる為の石段が造られている。</p> | | <p>厨子二階の棟に、元禄十八年とある。裏手にも蔵があり、同じく元禄時代に造られたものらしい。</p> | |
| 18 | 店舗 | 19 | 住宅 | 20 | 蔵 |
|  | |  | |  | |
| <p>出桁造りの並ぶ民家の様子。右手は木材店、左手は洋品店。</p> | | <p>出桁造りの民家。改装はされているが、出桁を特徴とした町並み景観を留めている。</p> | | <p>白壁が綺麗な蔵。本屋根は瓦で、下屋はトタンで改修してある。元々は、袖蔵として造られた。</p> | |
| 21 | 店舗 | 22 | 吾野宿の町並み | 23 | 板庇のある民家の街並み |
|  | |  | |  | |
| <p>出桁造りの民家。軒先の滑車におそらくは、看板でも吊るしてあったと思われる。屋号は「こくや」で、米を扱っていた。</p> | | <p>昔ながらの民家が3軒並んだ様子。手前2軒目は、大正頃の地図にも載っている畳店。いずれも、出桁造りである。</p> | | <p>出桁造りの民家。板庇(いたびさし)は、明治期の素朴な造りを残している。</p> | |

| | | | | | | |
|--|-----------|--|---|--|------|---|
| 24 | 石垣 | 25 |  |  | 26 |  |
| <p>時代を感じる石垣。 吾野では、石垣が幾つも見られる。</p> | | <p>かつての宿場町。 今は、国道が近くを通るため交通が少ない。 宿場町の名残を思わせる建物が、いくつか残っている。</p> | | <p>吾野駅近くにある岩。 その上には松が茂り、弁天様が奉られているのが見られる。</p> | | |
| 27 | 白髭神社 | 28-A |  |  | 28-B |  |
| <p>赤い鳥居のある、小さな神社。 街の真ん中に巨大な岩が鎮座している。</p> | | <p>写真は旧坂石小学校跡地からの景色。 この跡地には何も無いが、見晴らしが良く坂石地区展望地となっている。</p> | | <p>この小学校の卒業生達によって大切に守られている、しだれ桜。</p> | | |
| 29 | 丸太のベンチと樹木 | 30-A |  |  | 30-B |  |
| <p>ベンチとプラタナスの木。 ベンチは地域の人によって作られた手作りの物。</p> | | <p>路地の途中にある、小さな祠。</p> | | <p>「ミツバツツジ」が地域の人たちによって、植えられている。 3月に近づくと、紫色の花が咲き、訪れる人々を楽しませる。</p> | | |

| | | |
|--|---|--|
| <p>31 石積みの水路</p> | <p>32 住宅</p> | <p>33 鉄橋</p> |
|  |  |  |
| <p>石垣で造られている水路。 水路内には水草が茂っており、素敵な景観を感じさせる。</p> | <p>手入れの行き届いた日本庭園のある民家。奥には蔵も残っている。 入り口の四脚門は江戸時代建造の物。</p> | <p>赤い鉄橋と高麗川、山並みが美しい景色。 手前にある緑の橋は、「ふれあい橋」という名前。</p> |
| <p>34 あいの道</p> | <p>35 天理教吾野分教会</p> | <p>36 蔵</p> |
|  |  |  |
| <p>坂石町分の上宿と下宿の真ん中にある道を意味して「あいの道」と呼ばれた。 石垣の綺麗な路地である。</p> | <p>垣根に囲まれた建物。 あいの道に面した路地の奥に、ひっそりと佇む。</p> | <p>江戸期に建てられた蔵。 あいの道に面しており、趣きのある路地景観を醸し出す。</p> |

| | | | | | |
|---|----|--|---------|---|----|
| 37 | 住宅 | 38 | 小路に架かる橋 | 39 | 路地 |
|  | |  | |  | |
| <p>高垣で囲まれた出桁造りの民家。 右脇には袖蔵がある。 吾野駅の真下に建っている。</p> | | <p>鉄板で出来た橋。 川のせせらぎが良く聴こえる場所である。 散策の好奇心を掻き立てられる雰囲気。</p> | | <p>路地。 右手には高麗川が流れ、川沿いをゆっくり 散策できる、素敵な小道。</p> | |
| 40 | 住宅 | 41 | 住宅 | 42 | 住宅 |
|  | |  | |  | |
| <p>越屋根のある民家。 裏には蔵が2棟もある、大きなお屋敷。</p> | | <p>秩父彦神社の神主宅。 高い式台のある民家。 また、隣接する神社の石垣は、吾野で有名な職人に造らせた。 (現地ヒアリング)</p> | | <p>蔵と民家が空中の渡り廊下で繋がっている。 元は、民家があった場所に蔵が建っていたが、母屋が火事で消失。建替える際、現在の場所へ移築したとの事。 築100年は経っている。</p> | |
| 43 | 住宅 | 44 | 仮宿神社 | | |
|  | |  | | | |
| <p>出桁造りの民家。 吾野宿から顔振峠へ向かう道筋に建っているお屋敷。</p> | | <p>鳥居と正面にある狛犬は新しい物のようだ。 右奥にもう一对狛犬がいるが、変わった顔をしている。</p> | | | |